

平成 26 年度 学校評価（自己評価）

I. はじめに

本年は、5年ぶりに全保護者にアンケート(平成 27 年 3 月上旬)を実施し、その結果を基に、自己評価、学校関係者評価をなすこととした。

学校における最も重要な項目は、園児の育ちと、その為には先生の質の向上にあると考え、それらの点が明確にされた 5 年前のアンケート項目を土台に、いくつかの項目を追加した。

アンケートの中には、理事長・園長の指導性や先生の力量、安松幼稚園に通わせてよかったかどうかなどをズバリ問う項目など、幼稚園にとって、なかなかの厳しい質問を含んでいる。これも、「幼稚園は、公教育の一翼を担う学校である」という社会的責任に想いを致すとき、この厳しさは当然と認識している事を申し添えたい。

II. アンケート結果の概略の紹介

安松幼稚園の本質的な部分に関わる 11 項目を取り上げて、アンケート結果の概略を、さきに紹介・評価し、その後、もう少し細かく紹介・評価することとする。

数字は、全 274 庭を全体集合とする % である。() 内の数字は、5 年前の全 264 家庭に対する % である。

| | 5 全く賛成 | 4 ほとんど賛成 | 4 以上の 合計 |
|---|----------------|----------------|----------------|
| 安松幼稚園の教育に対する考え・姿勢・教育内容等について | | | |
| A① 幼児期にこそ、人としての骨太なところを育てたい | 83.6 (85.2) | 15.3 (12.2) | 98.9 (97.4) |
| A② 教育は子供の周りから困難やプレッシャーを取り除くのではなく、それらを乗り越える力をつけることにある | 81.4 (84.8) | 17.5 (13.6) | 98.9 (98.4) |
| A③ 幼児期には、一生懸命に頑張り、何かを成し遂げた時に感じるものの出来る喜びや達成感を体験させることがとても重要であり、今後の人生で色々な物事への積極性や自尊感情を養う基となる | 87.6 (90.1) | 10.9 (9.5) | 98.5 (99.6) |
| A④ 基本的な生活習慣は、幼児期に身に付けさせるべきである | 90.9 (92.4) | 8.0 (6.8) | 98.9 (99.2) |
| A⑤ 幼児期に、人として良いこと悪いことなどの善悪のけじめを身に付けさせたい | 91.6 (96.2) | 7.7 (3.4) | 99.3 (99.6) |
| 先生の質について | | | |
| D① 理事長・園長の理念が明確に伝わってくる | 92.7 (91.3) | 6.6 (7.6) | 99.3 (98.9) |
| D③ 先生方は園の方針を理解し、同じ方向・考えに立って、教育に取り組んでいる | 91.2 (88.6) | 8.0 (10.3) | 99.2 (98.9) |
| D④ 先生方は、熱〜い心を持って子供に接してくれている | 95.6 (92.8) | 4.4 (5.7) | 100 (98.5) |
| D⑧ 子供に担任だけが関わるのではなく、全ての先生で見守ってくれている | 89.8 (87.5) | 9.1 (9.8) | 98.9 (97.3) |
| D⑩ 先生のレベルは、総合的に判断して高い | 94.2 (86.4) | 5.5 (11.4) | 99.7 (97.8) |
| 最終的につきつめると | | | |
| G④ 安松幼稚園に入園させて良かった | 90.1 (90.2) | 8.4 (7.6) | 98.5 (97.8) |

Ⅲ. アンケートの構成（大きな項目）

下記の如く A, B, C では、安松幼稚園の教育に対する考え・姿勢・教育内容等について、保護者の意見・感想を問うた。

Dでは、安松幼稚園の先生の質について、保護者の率直な意見を問うた。安松幼稚園では「学校は教師力で決まる。先生の指導力と熱意が誇り」と考えているが、教育の質を保証する最も大きな鍵は、先生そのもののレベルである。この意味で、設問 D は、安松幼稚園の教師力を真っ正面から問いかける質問である。

そして E, F では、子供の育ち

G では、保護者そのものの変化を問うた。

今回、平成 27 年 4 月から認定子ども園を含む新制度が始まるのに際して、

H では、新制度に移行する方向か それとも 現在の幼稚園としての存続を希望するかを保護者に問うた。

具体的には次の 6 項目に分け、全保護者の意見・感想の集約を行った。

- A. 安松幼稚園の教育に対する考え（人としての育み）
- B. 安松幼稚園の教育に対する考え(カリキュラムなどの教材面)
- C. 安松幼稚園の行事（運動会・生活発表会・遠足等は幼稚園行事の定番として、それ以外の行事について、続けてほしいかどうかについて）
- D. 安松幼稚園の先生について
- E. 子供の人としての育ち（安松幼稚園に入園しての変化）
- F. 子供の各領域における育ち
- G. 保護者の変化
- H. 今後の方向

アンケートの中には、例えば

D⑤ 子供に注意し叱る必要のある時は、きちっと対応してくれる。

D⑥ 保護者に迎合することなく、必要なことは苦言も含めて伝えてくれる

等々の項目も含まれている。

これらの項目の設定そのものが、現在の社会(モンスターペアレンツの存在など)では、園にとってなかなか厳しいものではあるが、安松幼稚園では、先生の間も、保護者との関係においても、「風通しよく率直に」を目標としている。誠実さと熱意は必ず伝わると信じ、上記の項目もアンケートに含めた。ここに、結果もお知らせしておく。()内は 5 年前の%ある。

| | 5 | 4 | 4 以上の |
|--|----------------|----------------|----------------|
| | 全く賛成 | ほとんど賛成 | 合計 |
| D⑤ 子供に注意し叱る必要のある時は、きちっと 対応してくれる | 91.6 (88.3) | 6.9 (10.2) | 98.5 (98.5) |
| D⑥ 保護者に迎合することなく、必要なことは 苦言も含めて伝えてくれる | 81.4 (83.3) | 13.5 (10.6) | 94.9 (93.9) |

また安松幼稚園の先生の質についても率直に意見を求め、最終的には、安松幼稚園に入園させて良かったかどうかを問うた。

今後とも、真正面から、安松幼稚園の有り様について、保護者の意見・評価を求めたく思っている。

IV. アンケートの取り方

- アンケートですのでむろん無記名ですが、年少・年中・年長の学年所属については、記入してもらっている。
- 全項目について、5, 4, 3, 2, 1 の5段階からの選択とした。(274家庭です)
項目A, Bについては、5：全く賛成 4：ほとんど賛成 3：普通
2：どちらかといえば反対 1：全く反対 の感覚で
項目C, D, E, F, G については、5：全くそう思う(感じる) … 略 …
1：全くそうは思わない(感じない) の感覚で答えてもらっている。
年少さんなどで、まだ経験がなく判断できないという場合の為に0の選択肢を設けた。
- アンケートは5, 4, 3, 2, 1の5段階に○をつける形式ですが、その回答紙の裏面に、自分の想いを熱く綴って提出された多くの方がいた。有り難いことです。

V. アンケートの全ての結果(274家庭)

全52項目のアンケートであったが、全ての結果は[こちらをご覧ください。](#)

VI. まとめ

- II、III、Vの結果から、安松幼稚園の教育に対する基本理念や先生の資質・熱意に関しては、ほとんどの項目で、**評価5は90%前後、評価4以上は98%前後**と非常に高い評価を得ている。
教師力とは 先生の熱意と指導力 それが安松幼稚園の誇り
この理念を、全ての先生が、頭に心にたたみ込んでいる。
- 熱意のないものは、先生になる資格は無いと考えるが、嬉しいことに、「**D④先生方は熱い心を持って子供に接してくれる**」の問いに対しては、**保護者全員が評価4以上の100%**となった。
- 今回と、5年前の結果には、大きな差は無く、とくにDの先生の資質を問う項目に関して、
☆理事長・園長には、先生を育てる力がある 99.3 %
☆先生方は、熱い心をもって子供に接してくれる 100 %
☆先生のレベルは、総合的に判断して高い 99.7 % など、ほとんどの項目で、評価4, 5の合計が100%ちかいものであったことを、高く自己評価したい。
安松幼稚園は、「先生の熱意・指導力が、学校のほとんど全てを左右する」と考えているが、このアンケートから、当園の「人間の土台・骨太なところを育てたい」という目標を達成できていると、評価するものである。
- 指導力に関しては、先生の熱意と指導力を高めるための**日常の情報交換**や**色々な園内研修**の継続が、その根底にあると考えられる。
- 平成19年4月から、「**特別支援教育**」が学校教育法に位置づけられ、すべての学校において、障害のある幼児児童生徒の教育をさらに充実していくこととなった。
今回のアンケートでは触れる事ができなかったが、「特別支援教育」に関しても、この10年ばかり、園外・園内の多くの研修に参加し、支援を必要とする園児を一定数受け入れ成果をあげてきたと、自負している。発達障碍の専門医からは、「安松幼稚園から検診に来る子供達は、他園にはない伸びを示している」とか、病院で検査等をしてくれる心理士さんから「安松幼稚園に通っていると安心ですよ」との声かけがあると、付き添いのお母さんからよく聞いている。また多くの保護者や関係者から多くの謝意を頂戴している。今後とも継続することが重要と考えている。

VII. 最後に

- これら平成26年度 学校評価(自己評価)の基となったアンケート結果と自己評価を、学校関係者委員会に提出し、学校関係者の評価を得たいと考えている。
回答が選択肢であるアンケートだけでは物足りなく、別紙に幼稚園に対する思いや意見や感謝を文に綴って提出された保護者も多くあった。無記名のアンケートにかかわらず、氏名を記入されて謝意を表される保護者も少なからずあった。有り難いことである。

平成 26 年度 学校評価（学校関係者評価）

I. 最初に

今回、学校関係者委員会に提出された学校評価（自己評価）は、52項目にもわたる質問事項からなるアンケートを基になされています。そのアンケートの質問内容も明確に表現され、**全家庭からの回答**ということで、**アンケートの結果そのもの、それを基になされた自己評価そのものが、即、学校関係者評価とみなされると考えられます。**

しかしながら、学校関係者委員会としての評価を改めて求められましたので、ここに学校関係者評価を提出致します。

なお今回のアンケート結果が、5年前の結果とほぼ同じでしたので、その際の学校関係者評価に準じて議事を進め、ここに報告したいと存じます。

II. A. 安松幼稚園の教育方針（人としての育み） E. 子供の人としての育ち について

④の基本的な生活習慣や、⑤の善悪のけじめの大切さ 等については、ほとんどの幼稚園で大切にされている基本項目だと思います。

むしろ安松幼稚園の明確な主張や教育理念は、次の②③⑥⑦にあると考えられます。

②教育は子供の周りから**困難やプレッシャーを取り除くのではなく、それらを乗り越える力をつける**ことにある（**98.9%** 評価4以上の全家庭における賛成の割合：以下同様）

③幼児期には、**一生懸命**に頑張り、何かを成し遂げた時に感じる事の出来る**喜びや達成感を経験**させることがとても重要であり、今後の人生で色々な物事への**積極性や自尊心**を養う基となる（**98.5%**）

⑥幼児期に、**我慢**すること・**辛抱**することを学ぶことは大切である（**98.5%**）

⑦幼児期には、ちょっとした**失敗の経験**も必要である（**98.9%**）

この項目においては、**否定的な評価 2, 1 は、一家庭もなく、安松幼稚園の考えを支持する家庭は、全ての項目で 98%を超えています。**

98%越えの数字の結果は、単に安松幼稚園の考え方を論理として頭で評価して出てきた数字ではなく、項目 E にありますように、実際に各家庭の子ども達がめざましく変化したからと評価せざるを得ません。

E の項目を観てみましょう。

③周りの人に**優しく**なった（**88.7%**）

④**元気**になり、**気力と積極性**が身についた（**93.1%**）

⑤**頑張ることが出来る**ようになった（**94.1%**）

⑥**わあ、そんな風に考えることが出来るようになったのか**というような事があった（**93.4%**）

入園1年未満の3歳児をも含んだアンケートにおいて、**これらの項目が 90%を超えるというのは、保護者の圧倒的多数が、自分の子供の変化を間近に具体的に観て、安松幼稚園の教育力を高く評価している**と認められます。

評価委員会のメンバーである私たちの周りにおいても、多くのお母さん方が、安松幼稚園に入園させたからこその変化であったと話されています。

III. D. 安松幼稚園の先生 G. 保護者の変化 H. 今後の方向 について

上記 E の子供の劇的な変化は、A の 98%を超えての安松幼稚園の考え方の支持・評価につながりますし、D の安松幼稚園の先生方の高い支持につながっていると分析・評価できます。最終的につきつめますと、項目 G の④安松幼稚園に入園させて良かったかどうかの問いには、評価 4、5 の肯定的な評価は、98.5% にのびます。

H の今後の方向についても、今の幼稚園で有り続けて欲しいという希望は、95.6%に のびます。このアンケート結果より、学校関係者としては、多くの保護者が、「今後も、現在の安松幼稚園のままであってほしい」という強い希望を持っていると強く感じるとともに、実際にそういう声を多く聞きます。

安松幼稚園に入園させて良かったかどうかという G④ のアンケート結果が全てを物語っていると考え、他の項目の分析・評価については、次のIVで少し触れたいと思います。

IV. 最後に

学校関係者評価委員会では、「アンケートだけでは物足りなく自分の安松幼稚園に対する想いを文章に綴られた」お母さん方の感想や意見を次に紹介して、学校関係者評価を終わりと致します。

●B. 安松幼稚園の考え方(教材面)

先生の俳句や古典の指導は素晴らしいです。

私たち親も、考えたり教えられることが多くあります。

●C. 安松幼稚園の行事

先生方の本気が子供達に伝わり、子供達のやる気を先生方が受け止めて下さり、そこから大きな力が発揮されているのだと思います。やる気がどんどん出てきました。

●D. 安松幼稚園の先生

理事長先生・園長先生の強いリーダーシップにより、全ての先生方が日々進化されています。先生方が素晴らしいです。園の考えを全ての先生が理解し、かつ個性を持ち、子供達に接して下さる様子に頭が下がります。

言葉は悪いですが、当たり外れの無い先生方です。

●E. 子供の人としての育ち（安松幼稚園に入園してからの変化）

近所の方にも自然と挨拶できるようになり、特に、自分より小さな子に優しくできるようになりました。

●F. 子供の各領域における育ち

文字を外国での出来事や災害など、社会的なことにも、興味を持ち出しました。

また行事の前には、家で自主練もするし、寝言で号令をかけたり、歌を歌っていました(笑)

●G. 保護者の思い・変化 H. 今後の方向

この3年間、積極性・忍耐力・集中力といろんな事を学ばせて頂きました。

たくましく成長しました。…少し略…安松幼稚園に入園させて本当に良かったです。

安松幼稚園は国の宝だと思います。安松のような理念の幼稚園が増えれば、

日本はもっと良い国になると思います。安松小学校ができればいいなと思っています。

これまで通りの理念を貫き通して頂きたいです。

ありがとうございました。

●全般

安松幼稚園の考え方や指導方針には、賛成するところがたくさんあり、5以上をつけたいところは、◎にしました。

理事長先生、園長先生の教育方針・指導力で、レベルの高い教育ができ、それを受け止め伝えることのできる先生がいて、それらの教育を受けられることの幸せを感じています。

今は、日本中いや世界中がこのような教育指導ができれば、今の世の中がもっとよい世界に

なるのになぁ……幼稚園だけでなく、小学校・中学校も、安松幼稚園のような先生がいたら安心できるのになぁと思います。

安松幼稚園に習って、世の中の教育レベルの底上げを願います。

●全般

色々な場面で、園児たちの優しさ頼もしさが、周りの人を助けるのを観てきました。自分の娘にもそういう面が育ってきている気がするので、色々なプレッシャーを乗り越えて、大きな人間になってもらいたいです。

安松幼稚園には、これから生きていく上での がっしりとした土台を作る教育がなされていて、これは何ものにも代えがたい大変ありがたい事だと思っています。

●全般

姉は今小学校三年生になりますが、安松幼稚園で適切な負荷をかけられ、それらを乗り越えてきた経験が、とても役に立っています。何事も全力でやるということを教えてもらっていたから、少々の事は大変に感じず楽しめるのかなと思っています。

妹も、幼稚園で学んでいることを楽しみながら吸収している姿に、嬉しく感じました。

また私自身安松幼稚園と出会い、それまで不安のあった子育てに関して、参考になることが多々ありました。

参観日の後の教育懇談会での理事長先生のお話では、ぐらつきそうになっていた自分の子育てを、その都度立て直して頂いています。

これからもずっと安松幼稚園は変わらず、今の教育方針を貫いて欲しいと切に願います。

●全般

挙げればキリがない素晴らしい教育の中で、息子もだいぶたくましく成長させていただいたと思います。

厳しさの中にも、深い愛情が感じられる先生方の熱い指導には、感動すら覚えます。

方針として掲げること、口ではいくらでも言えるようなこと、それを実践し続けていることが凄いです。

本当に安松幼稚園に行かせて良かった。

親子共々、成長させていただけただけの幼稚園。

先生方には、感謝ばかりです。

我が子の成長が嬉しい反面、安松幼稚園とのお別れが寂しいです。

安松幼稚園の多くの保護者の真意がこれらの文章に表れているものと考え、アンケートを基にした自己評価に血肉をつける意味としても、ここに最後のまとめとして記しました。以上が自己評価を基にしてなされた学校関係者による分析・評価ですが、自己評価が適正になされているものとみなします。